

資料 2 添付

子ども・子育て支援事業計画に係る量の見込み及び確保方策について(修正案)

1. 1号認定及び2号認定Ⅰ(幼稚園の希望が強いと推定される者)

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
推計事業量 (1号認定)		181人	183人	185人	184人	183人
推計事業量 (2号認定Ⅰ)		146人	148人	150人	149人	148人
計画値① (推計事業量計)		327人	331人	335人	333人	331人
確保 量 (②)	幼稚園 ※移行しない	250人	110人	110人	110人	110人
	認定こども 園	177人	317人	317人	317人	317人
②-①		100人	96人	92人	94人	96人

※推計事業量＝アンケート調査によるニーズ量

■今後の確保方策

- ・現在の幼稚園定員は490人で、平成26年5月1日現在の幼稚園利用者数は398人。
- ・推計事業量は、平成29年度で335人。現状で対応可能。

※平成28年度認定こども園へ移行予定 まこと幼稚園 1号定員:140名

2. 2号認定②(2号認定のうちⅠ以外)

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
計画値① (推計事業量)		1,127人	1,137人	1,154人	1,146人	1,138人
確保量(②)		1,164人	1,164人	1,164人	1,164人	1,164人
前回までの確保量		1,168人	1,168人	1,168人	1,168人	1,168人
②-①		37人	27人	10人	18人	26人

■今後の確保方策

- ・平成27年度における保育利用定員計画数1,164人(資料1:利用定員一覧参照)
- ・推計事業量は、平成29年度で1,154人。現在の利用定員計画数どおりに設定できれば、対応可能。

3. 3号認定①(0歳児)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
計画値① (推計補正值)	182人	179人	175人	172人	168人
確保量②	185人	191人	191人	191人	191人
前回までの確保量	184人	184人	184人	184人	184人
②-①	3人	12人	16人	19人	23人

■今後の確保方策

- ・平成27年度における保育利用定員計画数 185人(別添:資料1:利用定員一覧参照)+整備予定6名(平成28年度から)
- ・推計事業量は、平成29年度で175人。現在の利用定員計画数どおりに設定できれば、対応可能。

※平成28年度整備計画 認定こども園まこと幼稚園 0歳児定員:6名

4. 3号認定②(1~2歳児)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
計画値① (推計事業量)	761人	761人	731人	718人	704人
確保量②	658人	682人	682人	682人	682人
前回までの確保量	646人	646人	646人	646人	646人
②-①	▲103人	▲79人	▲49人	▲36人	▲22人

■今後の確保方策

- ・平成27年度における保育利用定員計画数 658人(別添:資料1:利用定員一覧参照)+整備予定24名(平成28年度から)
- ・推計事業量は、平成29年度で731人。現在の受入枠との開きは49人となる。

※確保不足については、各年度における利用定員の見直し及び公共施設の見直し(民営化)により29年度までに保育ニーズへの対応を図ることとする。

※平成28年度整備計画 認定こども園まこと幼稚園 1歳児定員:12名 2歳児定員:12名

Ⅱ 地域子ども・子育て支援事業【法定13事業】

5. 一時預かり事業

◆幼稚園における在園児に対する一時預かり

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
推計事業量 (1号認定)	1,335 人日	1,346 人日	1,367 人日	1,358 人日	1,347 人日
推計補正值 (2号認定①)	35,040 人日	35,520 人日	36,000 人日	35,760 人日	35,520 人日
計画値① (推計事業量計)	36,375 人日	36,866 人日	37,367 人日	37,118 人日	36,867 人日
確保量(②)	25,530 人日	25,530 人日	25,530 人日	25,530 人日	25,530 人日
②－①	▲10,845 人日	▲11,336 人日	▲11,837 人日	▲11,588 人日	▲11,337 人日

■今後の確保方策

・市内の幼稚園の預かり保育の受入れ可能数を確保量として見込む。(1日の受入れ可能数 一時的:155人、恒常的:87人) 確保量=合計 25,530 人日

※一時的 155人×30日=4,650 人日

※恒常的 87人×年間240日(週5日×48週)=20,880 人日

・計画値は、保育・教育の1号認定及び2号認定①の児童数と連動させる形で設定。

※1号認定の計画値は、推計事業量どおりとする。

※2号認定①については、平成29年度推計事業量41,586人日となっており、利用実績との乖離が大きいため、推計児童数(平成29年度150人)が利用すると推計し、1人あたり年間240日(週5日×48週)と見込む。 **150×240=36,000 人日**

※平成29年度の計画値は、1号認定で1,367人日、2号認定で36,000人日の計人日となる。

現状では対応できないため、新制度移行後の利用状況を見ながら、必要に応じて受け入れ枠の拡大を図り、平成29年度には供給不足の解消を行う。計画の見直しを行い確保方策を検討していく。

※1日あたり50人程度の確保方策が必要である。